

国立大学法人

大阪教育大学

環境報告書

2016



OSAKA KYOIKU
UNIVERSITY





写真解説

この写真は、手塚治虫の母校である、大阪教育大学附属池田小学校が創立100周年の記念事業と、手塚治虫の生誕80周年を記念して、「鉄腕アトム」を題材にした石像です。（石像は手塚プロダクション協力）

銘板の内容

I love the earth and all creatures on it.
地球とそこに棲むすべての生物を愛します。

世界的にも有名な漫画家手塚治虫氏は同窓生として子ども達への最後の講演を附属池田小学校でおこないました。病の身でありながら「自然への愛と生命の尊さ」を熱心に訴えたのです。2008年11月、私たちはその手塚治虫氏の生誕80周年と大阪教育大学附属池田小学校の100周年を同時に迎えるにあたり、「生命を大切に、その思いを次世代に継承してほしい。」というメッセージを同窓生を代表する言葉として、全ての卒業生と在校生に贈ります。

2008年11月1日
大阪教育大学附属池田小学校創立100周年記念
寄贈：大阪教育大学附属池田小学校同窓会 一同

もくじ

○ 学長挨拶	1
○ 大阪教育大学環境報告書2016の作成にあたって	2
○ 大学概要	3
○ 事業概要	5
○ 環境方針	6
○ 環境マネジメント組織	7
○ 環境配慮実施計画	8
○ マテリアルバランス	12
○ 環境負荷データ	13
○ 環境マネジメント活動の推進	
・ 環境保全活動の状況	17
・ エネルギー削減の取り組み状況	20
・ 安全・安心への取り組み	21
・ 地域社会への取り組み	25
・ 学内での取り組み	27
○ 配置図(柏原キャンパス)	30
○ 団地の所在地	31

学長挨拶

環境報告書の公表にあたって（平成28年9月）



国立大学法人大阪教育大学長

栗林澄夫

大阪教育大学柏原キャンパスは、大阪府と奈良県の境にある金剛生駒紀泉国定公園内に位置する緑豊かなキャンパスであります。

本学の移転事業は、昭和40年代からスタートし数十年に及び長い混迷の時代を経て今日の柏原キャンパスへの移転統合がなされた背景があり、諸先輩をはじめとする多くの関係者の皆様方の努力の結晶があって現在の静寂感のある美しいキャンパスが実現しています。

この20年の歳月を顧みても社会の急速な変化により、国立大学の法人化をはじめとする様々な大学の変革期に重なっています。

大阪教育大学では、これらの変革に対応すべく地域のニーズや国際化、教育の高度化・多様性に対応する次世代の人材を育成するため、柏原キャンパスと天王寺キャンパスの機能強化がこれからの極めて重要な課題となっています。

このため、柏原キャンパスを郊外型キャンパス、天王寺キャンパスを都市型キャンパスとして位置づけ、それらを基軸として教育研究機能のさらなる高度化のため、戦略的に相互の発展に取り組んでいるところです。

大阪教育大学では、これらの教育研究機能の強化とともに、本学の環境方針に示すように地球環境保全の課題を真摯に受け止め、本学の教職員・学生の活動を通し一丸となり取り組むことが重要と捉えています。

省エネルギー化・資源の再利用・環境負荷低減はもとより美しいキャンパスを維持するための環境美化に引き続き取り組んでまいります。

皆様方にはこれからもご指導ご協力をお願いいたします。

大阪教育大学環境報告書2016の作成にあたって

方針

「環境情報の提供の促進等による特定事業者等の環境に配慮した事業活動の促進に関する法律（環境配慮促進法）」の施行により、平成18年度より大阪教育大学では、環境報告書を作成、公表してまいりました。大阪教育大学は平成16年4月に法人化し、大学の独自性が問われる中、省エネの取り組み、古紙のリサイクル等環境負荷削減に取り組んでまいりましたが、なお一層の取り組みが必要であると考えております。大阪教育大学環境報告書2016は、本学の教職員、学生、本学への入学を希望されている方々、保護者及び近隣住民に対して、平成27年度の大阪教育大学の環境についての現状を報告するものとして作成いたしました。

報告書の対象範囲

大阪教育大学柏原キャンパス

報告書の対象期間

平成27年度（2015年4月～2016年3月）

※但し一部内容については2016年6月までの内容を含む。

参照ガイドライン等

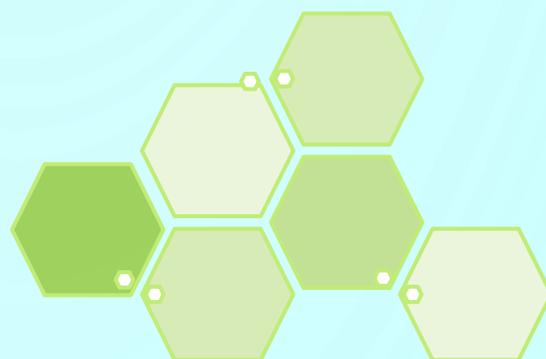
- ・「環境情報の提供の促進等による特定事業者等の環境に配慮した事業活動の促進に関する法律」に基づく「環境報告書の記載事項」
- ・環境省「環境報告書の記載事項等の手引き」
- ・環境省「環境報告ガイドライン（2007年版）」

発行年月

平成28年9月

次回発行予定

平成29年9月

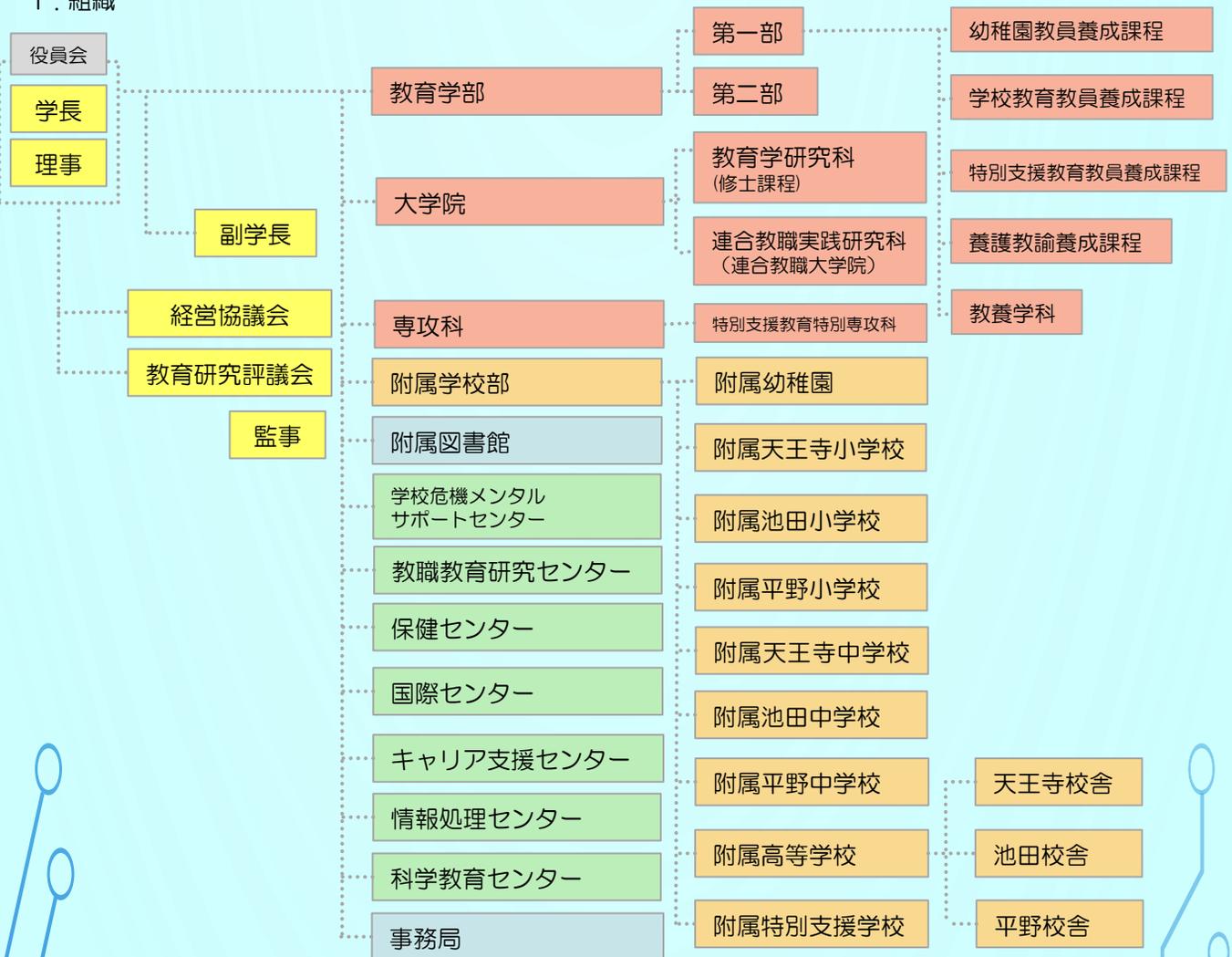


大学概要

大阪教育大学は、1874年（明治7年）8月に設置された教員伝習所にその起源を有する我が国有数の教員養成系大学です。

現在の大阪教育大学は、大阪府柏原市の金剛生駒紀泉国定公園内に約67万㎡のメインキャンパスを配置し、教員養成教育と教養教育を通じて有為な人材を輩出する一方、国際都市として交通アクセスはもとより情報・産業の中核機能を有する大阪市内に天王寺キャンパスを擁し、大阪市天王寺区、平野区及び大阪府池田市の3地区に初等・中等教育並びに特別支援教育に対応した附属学校園とともに総合的な教育系大学をめざしています。

1. 組織



(平成27年3月現在)

2. 職員数（平成27年5月1日現在）

学 長	理 事	監 事	合計
1	4	2	7

教授	147
准教授	94
講師	15
助教	2
附属学校教員	261
事務系職員	167

3. 学生数（平成27年5月1日現在）

■教育学部

第一部 教員養成課程・教養学科

教員養成課程	2,074 (8)
教養学科	1,768 (52)
合 計	3,842 (60)

第二部 小学校教員養成5年課程

1年次入学	218
3年次編入学	153
合 計	371

■大学院

教育学研究科

学校教育専攻他18専攻	400 (31)
-------------	----------

連合教職実践研究科

高度教職開発専攻	37
----------	----

特別支援教育特別専攻科

特別支援教育特別専攻科	21
-------------	----

外国人留学生は（ ）
で内数で記入

事業概要

本学は、その主目的である教員養成の他、幅広い教養と豊かな人間性を身につける教養学科を置き、加えて、それぞれを基礎に置く大学院を設置しています。

また、聴覚言語障害教育の充実に資するため、主として現職教員を対象とした特別支援教育特別専攻科を置いています。

1. 教育学部

本学教育学部には第一部〔柏原キャンパス〕・第二部〔天王寺キャンパス・夜間〕の教員養成課程と教養学科があります。

(1) 教員養成課程

① 第一部

卒業と同時に所属する課程・専攻に対応する教育職員一種免許状授与資格を得られるように編成されています。

課程は、学校教育教員養成課程、特別支援教育教員養成課程、幼稚園教員養成課程、養護教諭養成課程があります。

② 第二部

天王寺キャンパスにおいて、昼間に学べない勤労学生等のために門戸を開いており、課程は小学校教員養成5年課程で、卒業と同時に小学校教員一種免許状授与資格を得られるように編成しています。

(2) 教養学科

現代社会の要望に応える幅広い教養を身につけることができる人材を育成することを目的として、8専攻を設けています。専攻は、人間科学専攻、文化研究専攻、数理科学専攻、自然研究専攻、情報科学専攻、スポーツ専攻、健康生活科学専攻、芸術専攻があります。

2. 大学院教育学研究科（修士課程）

本学の大学院教育学研究科（修士課程）の組織は教員養成課程を基礎に置く大学院と教養学科を基礎に置く大学院に大別でき、その各々に現職教員、社会人等を対象とする夜間大学院を設けています。

また、すべての専攻において、基礎となる一種免許状授与の所要資格を有している場合に限り、専門分野に対応する教育職員専修免許状授与の資格を得ることが可能です。

(1) 教員養成課程を基礎に置く14専攻

- | | | |
|---------|---------------|----------|
| ①学校教育専攻 | ②国語教育専攻 | ③社会科教育専攻 |
| ④数学教育専攻 | ⑤理科教育専攻 | ⑥英語教育専攻 |
| ⑦家政教育専攻 | ⑧音楽教育専攻 | ⑨美術教育専攻 |
| ⑩保健体育専攻 | ⑪特別支援教育専攻 | ⑫技術教育専攻 |
| ⑬養護教育専攻 | ⑭実践学校教育専攻(夜間) | |

(2) 教養学科に基礎を置く4専攻

- | | | | |
|---------|-----------|---------|-------------|
| ①国際文化専攻 | ②総合基礎科学専攻 | ③芸術文化専攻 | ④健康科学専攻（夜間） |
|---------|-----------|---------|-------------|

3. 大学院連合教職実践研究科

平成27年4月に設置した関西大学、近畿大学と連携した連合教職実践研究科（連合教職大学院）です。この研究科では、大阪の教育現場が直面する問題を教材化し、事例研究や模擬授業等の教育方法を重視しながら、院生の主体的な学びを促します。さらに、学校実習を数多く導入し、教育現場の実際や多様性に通ずる経験の提供により、大阪の教育をリードする力量を有する教員を輩出します。

また、基礎となる一種免許状授与の所要資格を有している場合に限り、様々な教科について教育職員専修免許状授与の資格を得ることが可能です。

教職経験に応じて設けられた3コース

- ①学校マネジメントコース（現職教員等勤務経験8年以上）
- ②教育実践コーディネーターコース（現職教員等勤務経験3年以上）
- ③教育実践力開発コース（学部学生等第一種教員免許状取得者対象）

4. 特別支援教育特別専攻科

聴覚言語障害教育の充実に資するため、主として現職教員を対象として特別支援教育に関する専門教育を行い、この分野における教育を担当し得る教員の養成を目的に設置しています。

修了年限は1年で、すでに教員免許を有しているものを対象としています。

環境方針

■ 基本方針

大阪教育大学は、地球環境の保全が大きな問題であることを真摯に受け止め、教育研究及びあらゆる活動を通じて、地域を含めた良好なキャンパス環境の維持保全に努めます。

また、教員養成系大学として高い学識と豊かな教養をもち、環境問題に理解のある人材を育成します。このため、特に次の事項について推進して行きます。

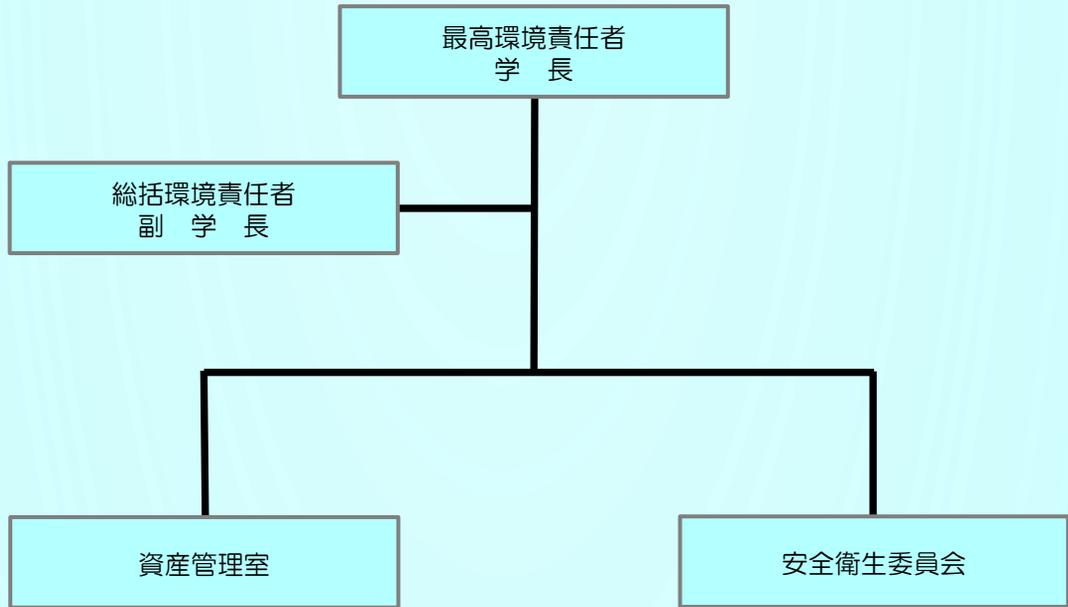
1. 省エネルギー、廃棄物の抑制、資源の再利用、環境汚染防止等全ての環境負荷の低減に継続的に取り組みます。
2. 美しく豊かなキャンパス環境の実現に向けた緑化整備、環境美化等について、全ての大学構成員の参加によるプログラムを推進します。
3. 環境に関する法令を遵守し、さらに自主管理規程を制定し、大学の社会的責任を果たします。
4. この基本方針を達成するため、環境配慮目標を設定し、環境情報を提供するなど、全ての大学構成員により、環境保全に取り組みます。
5. この方針は、BBS（電子掲示板）をもって全構成員に周知するとともにインターネットのホームページを用いて、広く社会に開示します。

平成28年9月

国立大学法人大阪教育大学
学長 栗林 澄夫

環境マネジメント組織

本学には施設・環境に係わる計画、整備及び維持保全について、担当理事を室長に教員、事務職員で構成する資産管理室が審議検討を行っています。また、教職員の危険並びに健康障害の防止等安全衛生については、担当理事(総務担当)を委員長に審議検討を行っています。



委員会等構成

資産管理室		安全衛生委員会（規程・第23条）	
担当理事（室長）		担当理事（委員長）	
総務部長		産業医	
学長指名職員	教授 1名	衛生管理者（学長指名）	
	財務課長	安全衛生経験者（学長指名）	
	施設課長	危害防止担当者（学長指名）	
	人事課長	健康障害防止・対応策（学長指名）	
		学長指名委員	

環境配慮実施計画

大阪教育大学の環境配慮の目標は、「省エネルギー・省資源の推進」「廃棄物の抑制」「環境汚染防止」「環境教育等の充実」「地域貢献」「喫煙対策」「学内美化」の項目を実施計画とし、進めていきます。

平成27年度の実施計画、評価（自己評価の○は計画達成、△は一部達成、×は未達成を示します。）

■ 省エネルギー・省資源の推進

項 目	実 施 計 画	自己評価
エネルギー使用量・温室効果ガスの削減	<input type="checkbox"/> エネルギー使用量及び温室効果ガス排出量を前年度比1%削減する。 <input type="checkbox"/> 掲示物等で省エネの啓発を行う。 <input type="checkbox"/> 廊下・トイレ等の照明の自動点灯・消灯装置への更新、教室等の照明器具のHf型照明器具への更新する。	○
水使用量の節減	<input type="checkbox"/> 掲示物等で節水の啓発を行う。 <input type="checkbox"/> トイレの手洗い自動水栓の導入を行う。 <input type="checkbox"/> メーターを検針し、水使用量を把握して大きな漏水がないかチェックする。	○

■ 廃棄物の抑制

項 目	実 施 計 画	自己評価
一般廃棄物の排出抑制	<input type="checkbox"/> 分別回収の徹底を強化する。 <input type="checkbox"/> 大学生協のランチボックス等紙パックを回収をする。 <input type="checkbox"/> 掲示によるマナー啓発活動の展開をする。	○
用紙使用量の削減	<input type="checkbox"/> 用紙の両面利用を推進し、使用量の節減を図る。 <input type="checkbox"/> 学内連絡や会議用資料の保存等を紙から電子記録媒体に移行する。	○

■ 環境汚染防止

項 目	実 施 計 画	自己評価
実験廃棄物等の管理	<input type="checkbox"/> 学長統括の下、大阪教育大学実験廃棄物等管理委員会において適正管理する。	○
実験廃棄物の廃棄	<input type="checkbox"/> 大阪教育大学実験廃棄物等取扱規程に基づき、実験廃棄物を排出する実験廃棄物等取扱者が、実験廃棄物等取扱責任者の指導監督の下、廃棄処分する。	○
実験用劇物等の管理	<input type="checkbox"/> 購入者がその都度、薬品名・薬品番号・購入単位・購入年月日・受入量・使用者を受払簿に記載する。 <input type="checkbox"/> 大量の物は屋外の鍵付き保管倉庫に、少量の物は屋内実験室等の鍵付き保管庫に保管する。 <input type="checkbox"/> 受払簿は保管庫倉庫内と保管庫内に保管する。 <input type="checkbox"/> 受払簿は使用する毎に記載する。	○

環境配慮実施計画

■ 環境教育等の充実

項 目	実 施 計 画	自己評価
環境教育の充実	<input type="checkbox"/> 教材園での栽培を通して、自然環境の大切さを学ばせる。	○
環境保全意識の啓発	<input type="checkbox"/> 春と秋、年2回のキャンパスクリーン週間を設け、自分達を取り巻く環境は自分達の手で護らねばならないという意識の芽生えを図る。	○

■ 地域貢献

項 目	実 施 計 画	自己評価
森林体験学習	<input type="checkbox"/> 柏原市との連携協定に基づく、近隣の小学生を対象とした森林体験学習を本学学生ボランティアにより実施する。	○
グリーンアドベンチャ (社団法人青少年流協会)	<input type="checkbox"/> キャンパス内に設定されたコース上の植物の名前や生態を付設ボードのクイズを解きながら学習し、キャンパスを野外活動で近隣地域の住民にも開放する。キャンパスの豊かな自然の中で自然に親しみ、植物をとおして生命の尊さとそれを育む環境保全の大切さを体感させる。	○
その他	<input type="checkbox"/> 星空を観察するという身近な方法で大気汚れを実感し、大気汚染問題に対して関心をもって頂くことを目的とした「星空の観察会」の実施する。	○

■ 喫煙対策

項 目	実 施 計 画	自己評価
喫煙・分煙区域の指定	<input type="checkbox"/> 分煙対策として、引き続き禁煙区域の明示と喫煙場所の整理を行い、受動喫煙の弊害を抑制する。	○
啓発活動	<input type="checkbox"/> 喫煙者に対する健康意識の高揚や喫煙マナー向上に向けたPR活動を推進する。	○

■ 学内美化

項 目	実 施 計 画	自己評価
雑草の刈り取りとゴミの 一斉収集	<input type="checkbox"/> キャンパスクリーン週間を年間2回設け、教職員と学生による一斉雑草刈りとゴミの収集を行い、環境美化を図る。また、この週間中以外でも道具を貸し出し、有志で環境美化が実施できる対応とする。	○
花壇の整備	<input type="checkbox"/> 計画的に整備する。	○
植栽の剪定	<input type="checkbox"/> 定期的に植木剪定業者を雇い剪定する。	○

環境配慮実施計画

平成27年度の目標

■ 省エネルギー・省資源の推進

項 目	実 施 計 画
エネルギー使用量・温室効果ガスの削減	<input type="checkbox"/> エネルギー使用量及び温室効果ガス排出量を前年度比1%削減する。 <input type="checkbox"/> 太陽光発電設備の設置等自然エネルギーの導入を推進する。 <input type="checkbox"/> 掲示物等で省エネの啓発を行う。 <input type="checkbox"/> 廊下・トイレ等の照明の自動点灯・消灯装置への更新、教室等の照明器具のLED化等照明器具等への更新、省エネに配慮した機器、システムの導入を推進する。
水使用量の節減	<input type="checkbox"/> 掲示物等で節水の啓発を行う。 <input type="checkbox"/> トイレの手洗い自動水栓の導入を行う。

■ 廃棄物の抑制

項 目	実 施 計 画
一般廃棄物の排出抑制	<input type="checkbox"/> 分別回収の徹底を強化する。 <input type="checkbox"/> 大学生協のランチボックス等をリサイクルする。 <input type="checkbox"/> 掲示によるマナー啓発活動の展開をする。
用紙使用量の削減	<input type="checkbox"/> 用紙の両面利用を推進し、使用量の節減を図る。 <input type="checkbox"/> 学内連絡や会議用資料の説明保存等を紙から電子記録媒体にする。

■ 環境汚染防止

項 目	実 施 計 画
実験廃棄物等の管理	<input type="checkbox"/> 学長統括の下、大阪教育大学実験廃棄物等管理委員会において適正管理する。
実験廃棄物の廃棄	<input type="checkbox"/> 大阪教育大学実験廃棄物等取扱規程に基づき、実験廃棄物を排出する実験廃棄物等取扱者が、実験廃棄物等取扱責任者の指導監督の下、廃棄処分する。
実験用劇物等の管理	<input type="checkbox"/> 購入者がその都度、薬品名・薬品番号・購入単位・購入年月日・受入量・使用者を受払簿に記載する。 <input type="checkbox"/> 大量の物は屋外の鍵付き保管倉庫に、少量の物は屋内実験室等の鍵付き保管庫に保管する。 <input type="checkbox"/> 受払簿は保管庫倉庫内と保管庫内に保管する。 <input type="checkbox"/> 受払簿は使用する毎に記載する。

■ 環境教育等の充実

項 目	実 施 計 画
環境教育の充実	<input type="checkbox"/> 教材園での栽培を通して、自然環境の大切さを学ばせる。 <input type="checkbox"/> 学内環境を通して、自然環境の大切さを学ばせる。
環境保全意識の啓発	<input type="checkbox"/> 春と秋、年2回のキャンパスクリーン週間を設け、自分達を取り巻く環境は自分達の手で護らねばならないという意識の芽生えを図る。

環境配慮実施計画

■ 地域貢献

項 目	実 施 計 画
森林体験学習	□ 柏原市との連携協定に基づく、近隣の小学生を対象とした森林体験学習を本学学生ボランティアにより実施する。
グリーンアドベンチャ (社団法人青少年交友協会)	□ キャンパス内に設定されたコース上の植物の名前や生態を付設ボードのクイズを解きながら学習し、キャンパスを回る野外活動で近隣地域の住民にも開放する。キャンパスの豊かな自然の中で自然に親しみ、植物をとおして生命の尊さとそれを育む環境保全の大切さを体感させる。
その他	□ 星空を観察するという身近な方法で大気の汚れを実感し、大気汚染問題に対して関心をもって頂くことを目的とした「星空の観察会」の実施 □ 幼稚園の遠足及び国際フェスティバル等の場所を提供する。

■ 禁煙対策

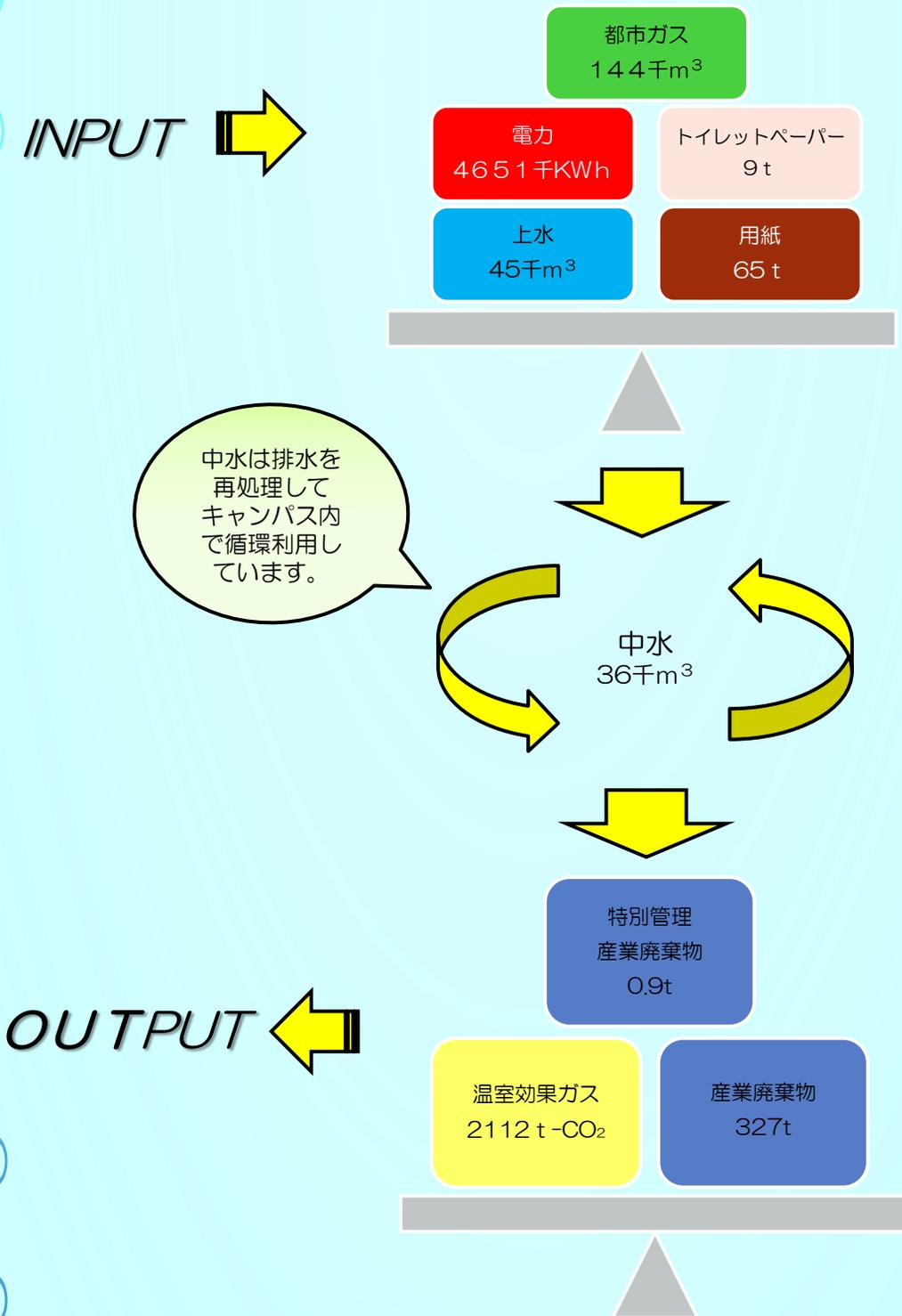
項 目	実 施 計 画
構内全面禁煙	□ 禁煙対策として、構内の全面禁煙を2015年10月1日より全面禁煙実施する。
啓発活動	□ 喫煙者に対する健康意識の高揚や喫煙マナー向上に向けたPR活動を推進する。

■ 学内美化

項 目	実 施 計 画
雑草の刈り取りとゴミの一斉収集	□ キャンパスクリーン週間を年間2回設け、教職員と学生による一斉雑草刈りとゴミの収集を行い、環境美化を図る。また、この週間中以外でも道具を貸し出し、有志で環境美化が実施できる対応とする。
花壇の整備	□ 計画的に整備する。
植栽の剪定	□ 期日を決め定期的に剪定や草刈の実施をする。

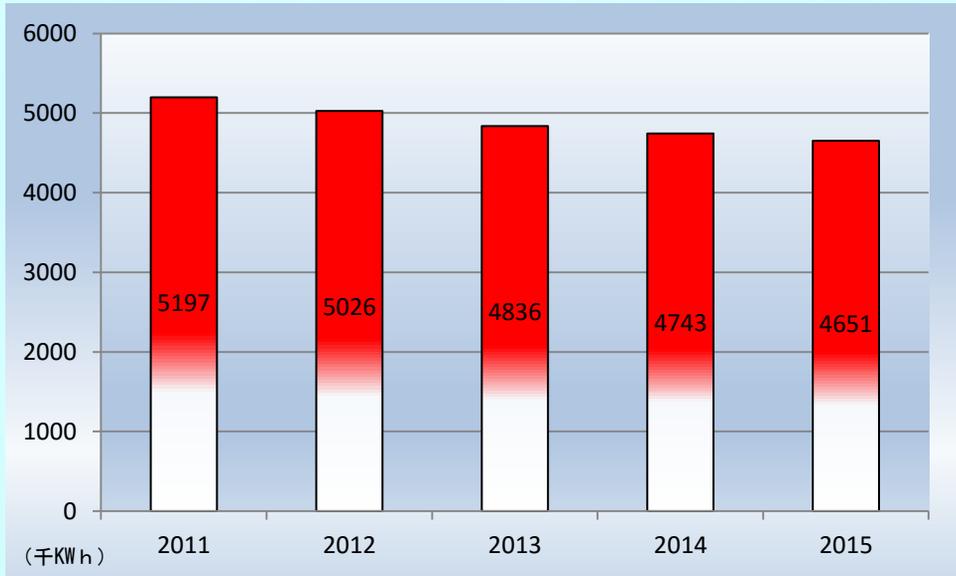
マテリアルバランス

マテリアルバランスとは、大学の活動に伴う環境負荷の全体像で、大学の活動のために投入する資源等をINPUT、大学の活動結果排出する環境負荷をOUTPUTとして表したもので、平成27年度の大阪教育大学柏原キャンパスのマテリアルバランスは下記の通りです。



環境負荷データ

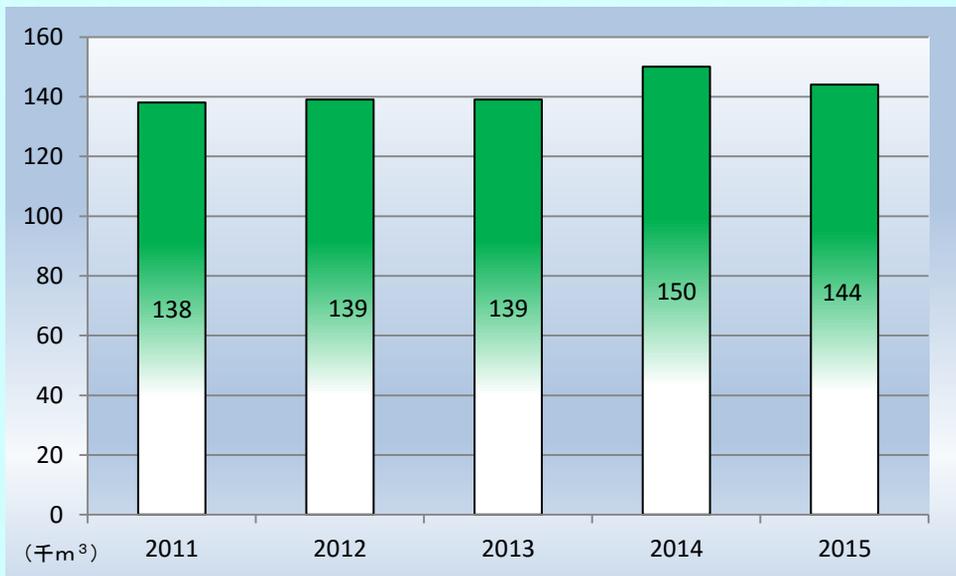
電力



●電力使用量削減のため全学的な省エネ活動を推進しています●

2015年度の電力使用量については、昨年引き続き照明設備のLED照明等の高効率化の実施を行うと共に年間を通しての省エネキャンペーン活動として、節電を実施したことにより、2014年度に比べ1.9%の電力使用量削減となりました。

都市ガス

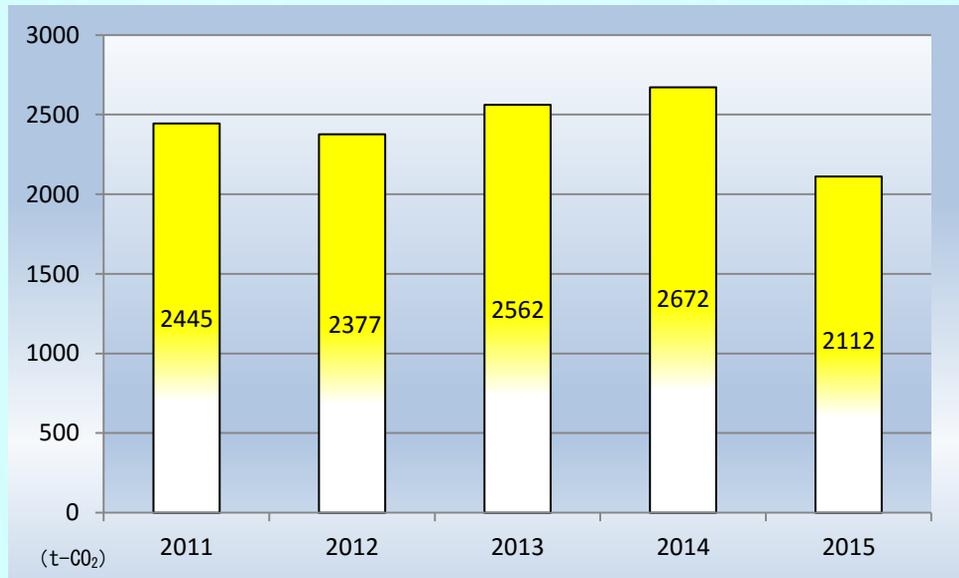


●ガス使用量削減についても全学的な省エネ活動を推進しています●

ガスヒートポンプ式空調機の整備として、空調設備の未整備箇所への整備を行いました。運用面では設定温度の抑制及び省エネ意識の向上により、2014年度に比べ4%の使用量削減となりました。

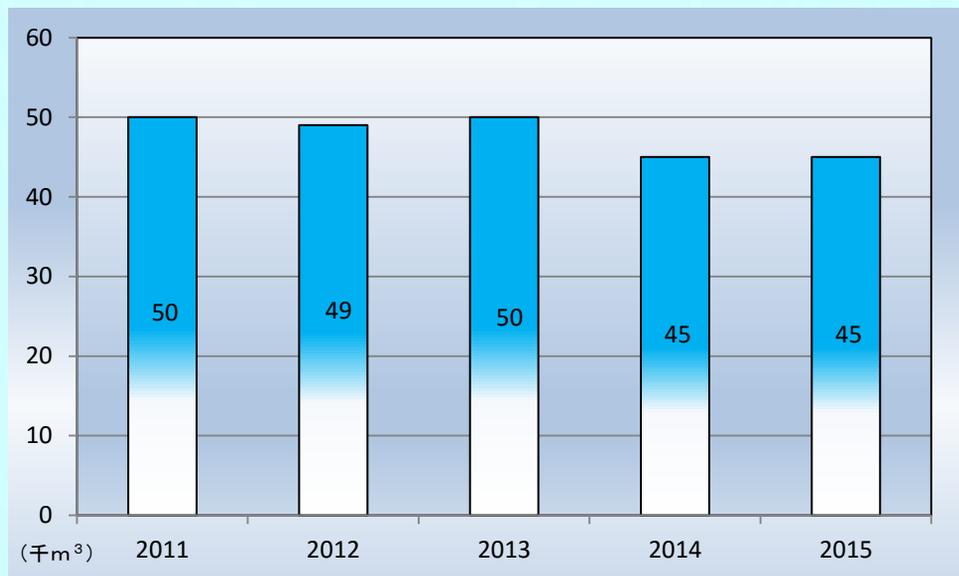
環境負荷データ

温室効果ガス t-CO₂



●温室効果ガス排出量削減に努めています●
2014年度の夏季及び冬季の省エネキャンペーン活動等の取組みにより電力エネルギーの消費が削減されたことに併せて、調達している電力会社のCO₂排出係数が大きく変動したため、2014年度と比べ約21%の温室効果ガスの排出量が削減されました。

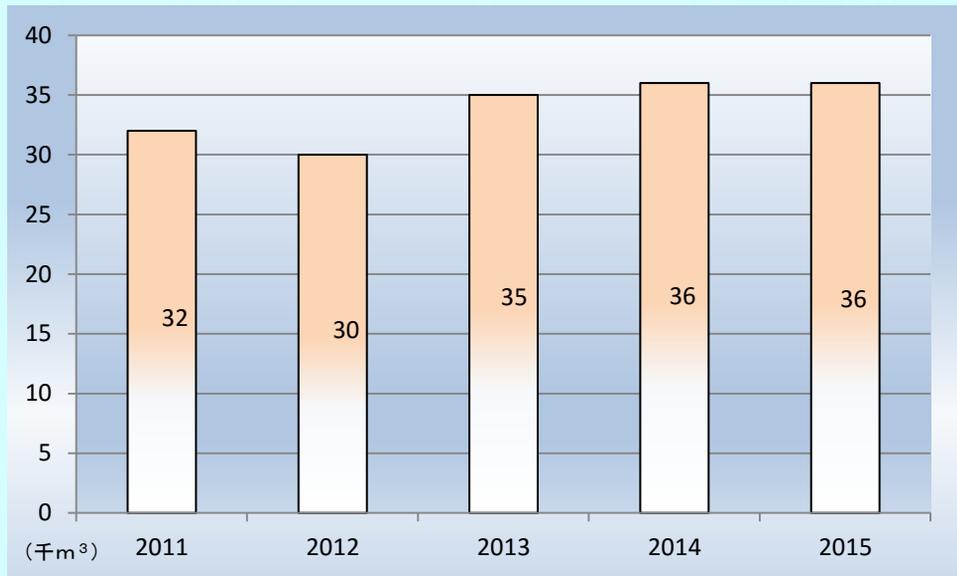
上水



●節水対策により水の使用量削減に努めています●
2015年度の上水使用量については、トイレ改修による自動水洗及びトイレの擬音装置の導入による節水の効果により2014年度と同程度の使用量となりました。

環境負荷データ

中水

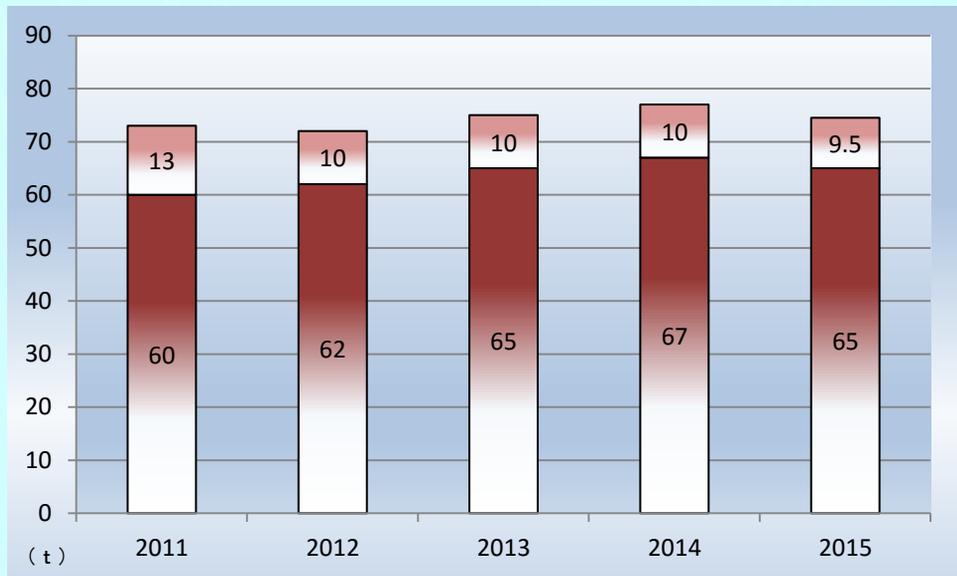


●中水は排水を再生処理してキャンパス内で再循環利用しています●

生活系で使用した排水は生活排水処理施設で処理を行い、中水として柏原キャンパス内のトイレの洗浄水や樹木などの散水として循環利用を図っています。また余剰の処理水は環境汚染のない基準以下に処理され、河川に放流を行っています。

2012年度に排水処理施設の改修（膜分離活性汚泥方式の採用）を行い自然に優しい排水処理を行っています。

■ トイレットペーパー
■ コピー用紙



●コピー用紙及びトイレットペーパーの節減に努めています●

コピー用紙・トイレットペーパーについては、2014年度より削減となっており、大阪教育大学学内グループウェアにより通知文書の電子化や学内会議においてもペーパーレス化を図っています。また、両面印刷や縮小印刷など紙使用削減に努めています。

環境負荷データ

産業廃棄物 特別管理産業廃棄物



●産業廃棄物の削減に努め適切な処理を行っています●

産業廃棄物については、2014年度に比べて5 t削減しました、特別管理産業廃棄物及び産業廃棄物は「廃棄物処理法」に基づき適正な処理を行っています。
※産業廃棄物は主に金属くず、木くず、廃プラスチック等を破碎した体積です。

■廃棄物の分別徹底とリサイクル

1. 一般廃棄物の分別収集

要所に分別ゴミ収集ボックスを配備して、分別収集を徹底し、委託清掃業者による毎日の清掃時に委託清掃業者が取りまとめて集積場に廃棄しています。

2. 特別管理産業廃棄物

特別管理産業廃棄物に該当する廃油、廃酸、廃アルカリ等については、随時産業廃棄物管理票（マニフェスト）により処理を業者委託しています。

また、ポリ塩化ビフェニル廃棄物（PCB廃棄物）は、PCB保管庫に種類毎に保管しており、環境省「ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理基本計画」に基づき委託処理する予定です。

3. 産業廃棄物

酸・アルカリ等の実験廃液やそれによる汚泥、廃油、また、廃プラスチック・金属類等の産業廃棄物は鍵付きの厳重管理格納庫を設置し、集積状況を見て随時、産業廃棄物管理票（マニフェスト）により処理を業者委託しています。

4. その他のゴミの収集

冊子や紙類等は全構成員に回収日と収集場所を周知徹底し、リサイクル業者に回収処理を委託しています。粗大ゴミは鍵付き格納庫にコーナーを設け、リサイクル可能な物と不可能な物に分別し、学内再利用する物は学内ネットで広報し、必要者の再利用に供しています。

また、不可能な物については産業廃棄物管理票（マニフェスト）により処理を業者委託しています。

環境マネジメント活動の推進 環境保全活動の状況

○キャンパスクリーンデーの実施

柏原キャンパスでは、7月20日（水）にキャンパスクリーンデーとして、学生ならびに教職員が参加してキャンパス内の草刈りを行いました。
夏の日差しが照りつける中、大きく成長した草をみんなで刈り取り、キャンパスはすっきりときれいになりました。



除草道具を借りに来る学生たち



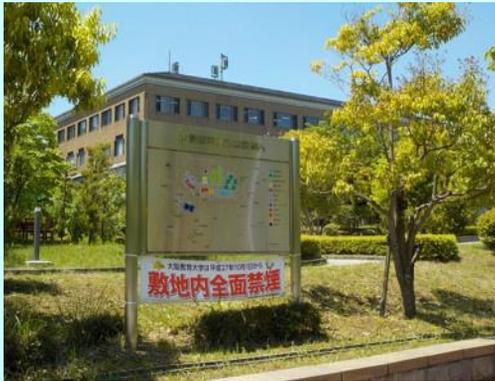
草の刈り取りの様子



草の刈り取りの様子

○大阪教育大学キャンパス全面禁煙化について

大阪教育大学では、教職員・学生等の健康増進と快適な学校環境の形成の促進を図るため、全てのキャンパスにおいて、平成27年10月1日から敷地内禁煙を実施することになりました。



敷地内全面禁煙の啓発横断幕



敷地内全面禁煙の啓発ポスター

環境マネジメント活動の推進 環境保全活動の状況

○「イエローラインプロジェクト」河内木綿の花が見ごろを迎える

美術教育講座の加藤可奈衛教授が中心となり活動している「イエローラインプロジェクト」が、河内木綿のガーデニングを、大阪教育大前駅横の原川親水公園内の一部エリアで実施しています。9月4日（金）現在、綿の花が見ごろを迎えています。

同プロジェクトは、本学学生や地域住民と連携・協力し、学内や柏原市内で、菜の花やひまわり、河内木綿などの栽培・収穫、ものづくりなどを、アートの視点に重点を置いて展開しています。今回見ごろを迎えた河内木綿は、本学英字表記の略称「OKU」の文字にガーデニングしており、黄色い花々が次々と咲き、熟した綿の実からは真っ白い綿が顔を出し始めています。今後は、近隣の保育園児や、本学学生などの綿つみ体験なども計画していく予定です。



OKUの文字に
ガーデニングされた河内木綿畑

○柏原市・市民団体との連携による地球環境問題を考えるセミナーを開催

本学と柏原市、市民団体・かしわら環境会議の三者連携による「かしわら環境セミナー@OKU」（以下、環境セミナー）が、6月13日（月）から17日（金）までの期間に、柏原キャンパスで開催されました。身近な問題から地球全体について考えることを目的に、環境活動家による講演や公開授業、作品展示などを通して、学生と柏原市民が環境問題をともに学び、考える公開プログラムです。

6月14日（火）は、柏原市の中野隆司市長と本学の中西正人理事をゲストに招き、市民参加型のまちづくりと環境問題をテーマに講演会が開かれ、本学学生や柏原市の住民ら約50人が参加しました。講師を務めたのは、NPO法人地域環境デザイン研究所ecotone代表理事の太田航平氏で、今年3年目を迎える「祇園祭ごみゼロ大作戦実行委員会」の推進役として活躍しています。

祇園祭がピークを迎える宵宵山・宵山の2日間は、毎年約60tもの可燃ごみが発生していました。太田氏は、このうち露店販売により出るごみの約6割が使い捨て容器であることに着目し、再使用できるリユース食器の導入を京都市や露天商組合に提案。リユース食器で販売した約21万食のうち8割を回収し、「ごみゼロ大作戦」実施初年度に、可燃ごみを約4割削減することに成功しました。

太田氏は、「ごみゼロという目標は誰もが願っていることだが、環境問題を訴えるだけでは人の心には響かない。環境行動や行為には結びつきにくい。取り組みを広く来場者に事前PRするなど、それ以外の理由づけも加えることで、露天商の方たちの意識を改革できた」とプロジェクト実現の秘訣を語りました。「ごみゼロ大作戦」の成功は、各地に波及し、大阪では、本学卒業生の岡見厚志さんが「天神祭のごみゼロを考える会」を立ち上げています。参加した学生の一人は、「省資源は成果が目に見えづらいが、『ごみゼロ大作戦』のように、数字で成果を示すことで人々の意識を変えることができるようになった」とコメントを寄せていました。「環境セミナー」では講演のほか、本学教員らによる、理科、家政、美術など、さまざまな領域から環境を考える公開授業や、本学学生が制作した、環境問題を扱う絵本やビデオ映像などの作品展示もキャンパス内で開催されました。「環境セミナー」事務局代表の関隆晴本学名誉教授は、「学生たちがこのセミナーを通して、地球温暖化問題への理解を深め、意識を高められることを願う」とコメントしています。



講演の様子



本学学生たちや環境団体による
活動紹介

環境マネジメント活動の推進 環境保全活動の状況

柏原キャンパスの敷地面積は、約67万㎡を有し、内建物面積が3万㎡あり、残りの64万㎡は運動場などのグラウンドと山林等が大きく占めています。

柏原キャンパスは自然公園内にあり、景観や環境に配慮した配置となっています。

柏原キャンパスは移転後20年以上が経過し、多くの倒木等により法面崩壊対策として、森林組合の協力による法面整備を行っています。また、緑地保全整備として、構内の除草を計画的に実施して環境保全活動を行っています。

○森林組合による倒木の法面整備の状況



倒木の伐採



倒木部分の法面崩壊対策



倒木部分の法面崩壊対策完了

○緑地保全等整備の状況



構内除草活動



構内除草活動



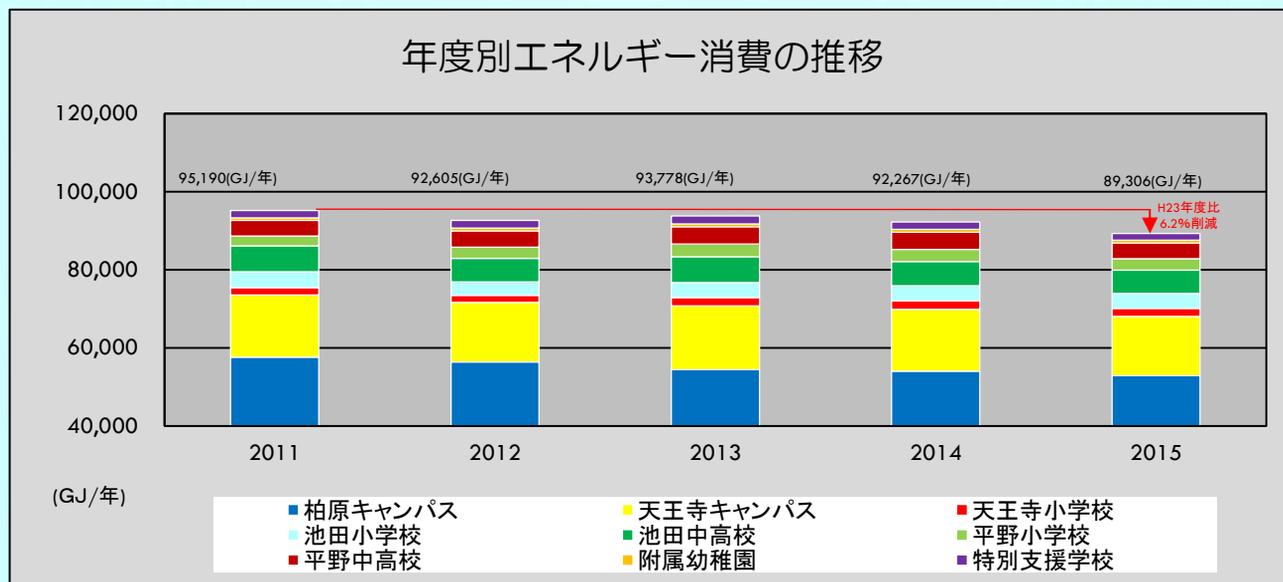
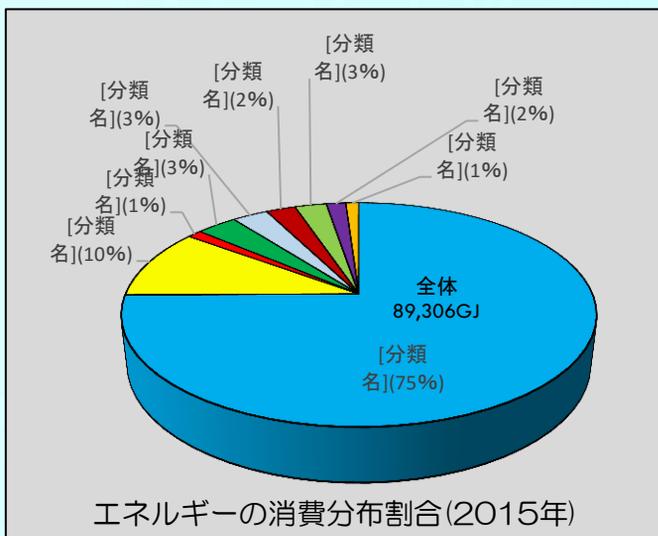
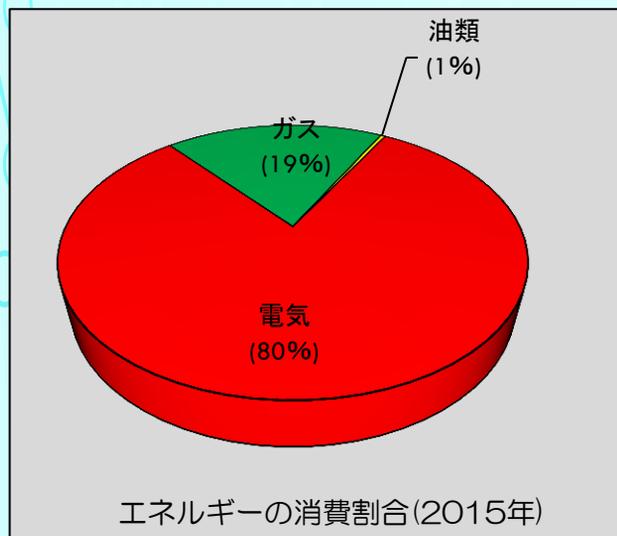
構内除草活動



柏原キャンパス現況写真

環境マネジメント活動の推進 エネルギー削減の取り組み状況

○本学における省エネルギーへの取り組み状況



○本学の法的規制

□エネルギーの使用の合理化等に関する法律（省エネ法）：

- 本学は年度間エネルギー使用量(原油換算値k l)が1 500 k l以上消費するため特定事業者指定されています。
- 柏原キャンパスは年度間エネルギー使用量(原油換算値k l)が1 500 k l以上消費するため第二種エネルギー管理指定工場に指定されています。
- 過去5年間のエネルギー使用に係る原単位を年平均1%以上改善を行う。
- 過去5年間の電気需要平準化評価原単位を年平均1%以上改善を行う。(平成26年4月施行)

□大阪府温暖化防止等に関する条例

- 本学は大阪府内に設置している事業所における燃料ならびに熱及び電気を合算したエネルギー使用量の合計が、原油換算燃料等使用量で1 500 k l/年以上の事業所のため指定されています。
- 計画期間の3年間に温室効果ガスの排出量原単位を3%以上削減(目標値)

環境マネジメント活動の推進 安全安心への取り組み

○学生宿舎・留学生宿舎入居者対象の防火研修を実施

地震・火事・台風がテーマの防災研修を、11月25日（水）に柏原キャンパスの学生宿舎と留学生宿舎入居者を対象に、柏原キャンパスで実施しました。入居者137人のほか、学生サービス課、学術連携課、学生支援実施委員会、国際センター等の教職員10人が参加しました。

最初に柏原羽曳野藤井寺消防組合（以下「柏羽藤消防組合」）の隊員が地震・火事を中心とした事例を紹介し、学生らが集団で暮らす学生宿舎での備えについて講義しました。

次のグループワークでは、事前に入居者が準備した学生宿舎の危険個所の写真をもとに、課題を検討しました。3宿舎の入居者がグループを組み、協力しながら課題を1枚の地図にまとめ、代表者が発表しました。「日頃から整理整頓に努める」「宿舎周辺に違法駐車しない」「靴箱などの大型の棚は固定する」等の意見が出され、指導にあたった学校危機メンタルサポートセンターの豊沢純子准教授は、「日頃から防災意識を持ち、周囲の人と注意し合う環境づくりに努めることが、様々な災害に対する備えになります」とアドバイスしました。

参加した学生からは「グループワークでは、いろいろな意見が出されて参考になった」「大きな災害を経験したことがなかったので、目を向けるきっかけになった」「この学びを安全で快適な宿舎環境に活かしていきたい」などの声が寄せられました。

学生宿舎と留学生宿舎は隣接しており、本学では今後も可能な限り連携し、防災訓練や研修を重ねていく計画です。



グループワークの様子



代表者による発表

○学校安全の日」附属池田小「祈りと誓いの集い」および大学の事業を実施

大阪教育大学附属池田小学校事件から15年となる6月8日（水）、今年も同校で、追悼式典「祈りと誓いの集い」があり、児童、保護者、教職員など約1300人が出席しました。午前10時12分、事件で犠牲となった8人の名が刻まれた「祈りと誓いの塔」の鐘が鳴らされ、出席者全員が黙とうを捧げました。事件を風化させず、その教訓を広く社会に伝え、我が国の学校安全課題に先導的な役割を果たし続けていくために、6月8日を「学校安全の日」と定め、全学規模で附属池田小学校事件を振り返り、学校安全への決意を新たにするものです。

出席した6年生児童に向けて、「この祈りと誓いの塔に刻まれた8人の名前を忘れず、人を守る側の人間になってください」と語りかけました。

続いて、6年生の代表児童3人が、安全教育を通して学んだ命の尊さや安全を願う心を、下級生たちに伝え続けていくことを誓いました。

また、大学では、柏原キャンパスでは6月9日（金）3限目、天王寺キャンパスの第二部では同日2限目の全授業中に、冊子「附属池田小学校事件を語り伝えていくために」を配布し、受講した学生約2800人に対し、担当教員から附属池田小学校事件の概要と教訓が伝えられました。



誓いの言葉を述べる代表児童

環境マネジメント活動の推進 安全安心への取組み

○各附属学校体育館の非構造部材改修工事の実施

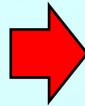
小学校、中学・高等学校及び特別支援学校において、生徒が教育活動に使用している体育館における天井材等（非構造部材）の耐震性改善対策として天井材の撤去及び照明器具の落下防止等の耐震措置を行い安全安心を確保いたしました。

また、老朽化している照明器具をLED照明器具に改修し照度不足の改善を行いました。これにより電力使用の削減と温室効果ガスの削減も期待されます。

武道場



- ・照明を改修
- ・天井を撤去



アリーナ



既設HID器具



落下防止

LED器具

改修前

改修後

地区	建物	内容	備考
天王寺	中学・高等学校体育館	・照明器具の落下防止及びLED化 ・天井の耐震改修	武道場を含む
平野	小学校体育館	・照明器具の落下防止及びLED化	
	中学・高等学校体育館	・照明器具の落下防止及びLED化 ・天井の耐震改修	武道場を含む
	特別支援学校	・照明器具の落下防止及びLED化	
池田	小学校体育館	・照明器具の落下防止及びLED化	
	中学・高等学校体育館	・照明器具の落下防止及びLED化	武道場を含む

環境マネジメント活動の推進 安全安心への取組み

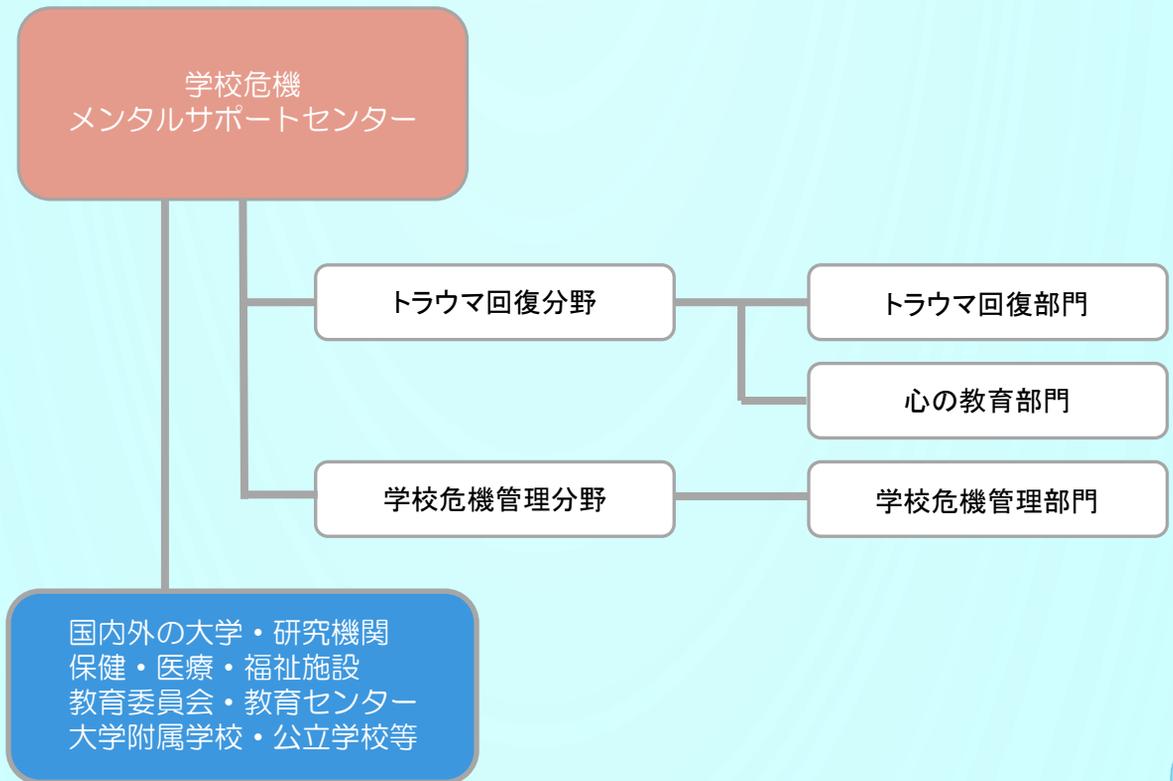
○大阪教育大学学校危機メンタルサポートセンターの活動について

大阪教育大学学校危機メンタルサポートセンターは、平成13年6月8日、本学の教育学部附属池田小学校において23名の児童及び教員が殺傷され、児童・保護者・教員が精神的に傷を受け、長期にわたるケアが必要とされています。

このような学校危機の発生に対して、専門的に対応できる組織的・包括的な活動を支援する研究・教育機関に対する社会的要請が高まっていることを受け、全国共同利用施設として学校危機支援に関する研究を実施し、かつ、国立大学の教員その他の者で、この分野の研究に従事する者の利用に供されています。

○活動方針

部門構成と連携機関



○トラウマ回復部門

- ・心的外傷を受けた児童・生徒などの臨床的な治療技法や心のケアに関する研究PTSDの心理学的・生物学的・社会学的研究

○心の教育部門

- ・トラウマなどの問題を抱える児童・生徒に対する心の教育と学校の組織的な取り組みのあり方に関する研究

○学校危機管理部門

- ・学校危機に対する予防の研究
- ・学校危機支援のあり方に関する研修

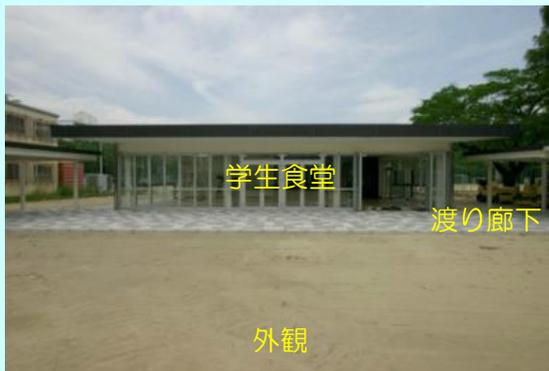
環境マネジメント活動の推進 安全安心への取組み

○附属池田中高の学生食堂が新しくなりました

附属池田中高学生食堂は昭和39年に建築され、50年以上が経過した建物で近年は老朽化と耐震性に問題が生じており、早急な改善が求められていましたが、平成28年6月に新しく建替えが完了いたしました。これにより耐震性が確保され安全安心な食堂へと改善されました。この学生食堂へは中学校校舎や高等学校校舎からもアクセス出来るように渡り廊下で接続されています。新しい学生食堂はサッシを大きく開放することが可能で、自然光を多く取入れた明るい学生食堂に生まれ変わりました。また、新しい学生食堂は食堂としての機能にプラスし、コミュニケーションルームとしての活用も可能となっています。



旧学生食堂



新学生食堂

構造：鉄骨造・1階建
延面積：200㎡
収容人数：約70名
主な設備：照明設備（LED）、放送設備、
情報通信設備、AV設備、
空調設備、換気設備

環境マネジメント活動の推進 地域社会への取り組み

○「2016柏原シティキャンパスマラソン」を開催

「2016年柏原シティキャンパスマラソン」（柏原市、柏原市教育委員会、大阪教育大学共催）が2月21日（日）、本学柏原キャンパスで開催されました。

開会式では、柏原市から中野隆司市長が、本学から中西正人理事が挨拶し、中西理事の発声による「えい！えい！おー！」の勝ち鬨に、会場が大きく盛り上がりました。入念な準備体操の後、2km親子ジョギング、3km、5km、10kmと順次スタートし、およそ1,000人のランナーたちが、標高差最大100mのコースを力強く駆け抜けていきました。

当日は応援ゲストにお笑いコンビ『女と男』、ゲストランナーにお笑いコンビ『ランナズ』を迎え、さらに本学公式キャラクターの『やまお』と『たまごどり』、柏原市のキャラクター『かしびょん』も応援に駆けつけ、たくさん子どもたちに囲まれ、人気の高さを見せていました。

10kmコースに参加した『ランナズ』は、東洋大学陸上競技部出身のがんばれゆうすけ氏が、箱根駅伝のエントリーメンバーのみが着用できる鉄紺のユニフォームをまもってトップでゴールし、ゴール直後も沿道に走り出て最後までランナーを応援していました。小宮ひろあき氏は『やまお』と『かしびょん』をイメージした、バルーンアートをあしらった仮装で走り切り、コンビ揃って驚異的な体力を見せました。

閉会式では、表彰式が行われ、一般男子40歳以上の部で優勝した岩寄洋さんは、「王寺町和（やわらぎ）マラソンが一番きついコースと思っていたが、駅からキャンパスに2回登るコースには恐れ入りました。走っている最中は心が折れそうになりましたが、年代で優勝できてうれしい。来年はタイムと総合順位が上がるよう練習に励みます」と喜びを語りました。また、恒例の大阪マラソンの抽選会も行われ、10km完走者から男女各1人が当選し、選ばれたランナーは笑顔を見せていました。

前日まで降っていた雨は止んだものの、肌寒い上に風が強く、ランナーにとって厳しいコンディションとなりましたが、参加者たちは「来年は今回の記録を10分縮めたい」「今夜のビールはいつも以上に美味しい」など、晴れやかな表情を浮かべていました。



開会式で挨拶する中西正人理事



10kmコースのスタート直後



たまごどり、やまお、かしびょん



10kmコース最後の坂を駆け上るランナーたち

環境マネジメント活動の推進 地域社会への取り組み

○柏原キャンパスの坂道を駆け上がる自転車レース大会が開催

柏原市主催の自転車レース大会「第1回かしわらハーフマイルヒルクライムスプリント」が2月6日（土）、柏原キャンパスを舞台に開催されました。

柏原市は、高い評価を受ける競技向け自転車のメーカーが所在しており、チームを作ったり選手に機材を供給するなど、知る人ぞ知る自転車のまちです。これを柏原市の豊かな自然とともにまちの魅力として発信しようと企画されたこの大会は、エントリー受付開始から3日で定員に達するほど注目を集め、当日は大阪府を中心に近畿各府県から81人が出場しました。

コースは金剛生駒紀泉国定公園に位置する柏原キャンパス構内の道路で、距離800m、平均勾配8%の、平坦な区域の一切ない上り坂です。レースはタイムトライアル形式で行われ、選手たちは一人ずつ15秒間隔で次々とスタートし、力強くペダルを踏み込んで一気に駆け上がっていきました。第1ヒート、第2ヒートの2回走行して速い方のタイムを基準に上位8人を選出し、決勝ヒートで順位が決定されました。

見事初代王者に輝いたのは、本学教員養成課程保健体育専攻4回生の佐々木洋平さんでした。サッカー部に所属する佐々木さんはトレーニングもかねて自転車で通学しているといい、「レース大会に出場するのは初めてで、緊張したけれど楽しかった」と喜びを語りました。また、本学教養学科芸術専攻芸術学コース4回生の江里口恭平さんが3位に入賞し、「4年間坂道を上り続けたのが報われました」と笑顔で話しました。



坂道を懸命に上る選手たち



表彰式の様子

○地域住民と関わりを深める「スポーツ交流会」を柏原キャンパスで開催

いろいろなスポーツの体験を通して本学体育会学生と地域との交流を図るとともに、児童・生徒の体力向上や市民の生涯体育に役立てることを目的とした、本学スポーツクラブ主催による「スポーツ交流会」を2月7日（日）に柏原キャンパスで開催しました。本学スポーツクラブは、柏原市民と大阪教育大学の学生と教職員が一体となり、充実した文化・スポーツ活動を行う有志のクラブとして平成20年に設立され、以降、地域に密着したスポーツ交流活動を活発に展開しています。

当日は小・中学生をはじめとした約30人の市民が、バレーボール、剣道、体操、バドミントンの4つの種目に分かれて参加し、本学体育会学生の熱心な指導の下、約2時間にわたって楽しみながら汗を流しました。といった声が多く寄せられました。指導にあたった体育会学生からは、「初めての人にも親しめるように準備運動を工夫した」「大学ならではの体験をしてもらえたと思う」など、指導についての振り返る声が聞かれました。「より幅広い層に情報が行きわたるような方法を考えたい」と来年度への意気込みも語られ、主催者・参加者の双方から満足の声が寄せられた交流会となりました。



スポーツ交流会の様子

環境マネジメント活動の推進 学内での取り組み

○ゴミの分別収集及び処理について

- 一般廃棄物
本学の一般廃棄物については、可燃物、缶類、ビン類等に分別し廃棄処分を行っています。また、紙類においても種別に分類し専門業者に処理を委託しています。
- 産業廃棄物
本学の産業廃棄物については、種類毎に回収し専門業者に処理の委託を行っています。（マニフェストの義務化）



- カップラーメンの湯きり処理
柏原キャンパスの生協においてはカップラーメンの残り湯などを回収し排水に直接流さない対応として、湯きりボックスを設置しています。この対応により排水処理施設の処理負荷が軽減され、放流している河川の環境改善にも役立っています。

- 特別監理産業廃棄物
本学の特別監理産業廃棄物については、種類毎に回収管理し、専門業者に廃棄の委託を行っています。（マニフェストの義務化）



生協前カップラーメン用湯切りボックス

○PCB廃棄物(特別監理産業廃棄物) について

大阪教育大学では、天王寺学舎等で使用していた照明器具の安定器にPCB（ポリ塩化ビフェニル）が含まれていたため、関係法令に従い安定器を鉄製ケースに収容し、保管倉庫に保管しています。PCB廃棄物の処理については専門業者(JESCO)に委託し処理を行う計画としています。



PCB廃棄物の保管状況

JESCOは、国等の委託を受けて行う中間貯蔵事業と旧日本環境安全事業株式会社の実施していたPCB廃棄物処理事業を行う、政府全額出資の特殊会社です。

環境マネジメント活動の推進 学内での取り組み

○大阪教育大生協の環境保護に関わる取り組み 「リサイクルのとりくみ」

生協では、食堂で販売するテイクアウト弁当の容器としてリサイクル可能な「リ・リパック」を使用しています。2015年度は、生協学生委員会が「組合員に環境問題への意識を持ってもらうこととリ・リパックの回収率向上」を目的に、リサイクル促進企画「買ってエコ活！食べてニッコリ！秋のリ・リパック祭り」を11月9日～20日に行いました。リ・リパックの回収BOX横に学生委員が昼休みに立って、スタンプラリーなどを行ったり、学生委員会のツイッターも使って「環境川柳」を組合員から広く募集するなど、弁当容器リサイクルの呼びかけを強化しました。とりくみ前の10月平均では33%だった回収率が、とりくみ終了直後の12月には48%に上がり、一定の効果をあげることができました。年間を通じた回収率アップには課題を残していますが、その後も継続してポスター等でリサイクルをよびかけています。

**買ってエコ活！食べてニッコリ！
秋のリ・リパック祭り**

みなさん、「リ・リパック」をご存知ですか？生協のテイクアウト弁当容器「リ・リパック」とはフィルムをはがすことで簡単にリサイクルが出来る、環境にやさしい容器です。

大阪教育大生協では「リ・リパック」の回収を行っています。現在の回収率は約40%と、他大学に比べ低いのが現状です。

私たちで協力して回収率を上げましょう！期間中の目標は70%です☆

企画期間中にリ・リパックを指定の回収BOX(下記参照)に持って来て下さった方にスタンプカードを配布し、スタンプを押します。スタンプは1回持って来るごとに1つ押します。

スタンプを5個ためると…
100円分のD払い券をプレゼント！！
楽しくエコ活動しましょう(´▽`)

期間：11月9日(月)～11月20日(金)
時間：12:25～12:50
場所(日替わり)

月	火	水	木	金
サンカブ 前	サンカブ 前	サンカブ 前	サンカブ 前	サンカブ 前
26前	26前	26前	A-211 前	26前
A-214 前	26前	26前	26前	26前
26前	26前	26前	26前	26前

【環境川柳】
環境について考えて頂く機会として、11月9日～11月20日の期間、環境に関する川柳をTwitter(DM) & 投稿(専用の箱 & リ・リパック回収時に回収)で募集します！優秀作品には豪華賞品☆☆
詳しくは川柳のポスターをご覧ください。

生協学生委員会



環境ボード 第1号

今月のテーマ **ごみ問題**

突然ですがみなさんは日本のごみ焼却量はダントツで世界一であるご存知ですか？つまりこれほどまでに多くのごみを出し、燃やしている国はないということです。平均すると1人1年のごみの量を毎日出し、年間1家単位では1～2トンのごみが出ているのです。ごみによる被害(海洋汚染、野生動物を殺傷するなど)は計り知れません。私たちが一人ひとりがごみ問題のなかにできることを考えているので、ぜひみなさんも実践してみてください。

- ・燃焼ごみを減らすには燃焼前に必要ごみを減らす
- ・買い物を減らす(エコバッグを持参)
- ・再生紙やリサイクル紙の活用
- ・ごみは分別してリサイクルできるものはリサイクルする

卒業おめでとうございます！
皆様は好評に読んでいただいていたので、メルアドリストにお送りします！

環境川柳
組合員募集

募集期間
11月9日～11月20日
募集場所
各キャンパス
募集方法
専用箱に
リ・リパック
回収時に
回収する

11月のリ・リパックの回収率
34%

先月より1%アップ！
まずは50%目指して協力をお願いします！

生協学生委員会

**ちょっとそこのあなた！
リ・リパックを知っていますか？**

テイクアウト弁当で使われている容器は、「リ・リパック」という名前です。この容器は回収した後、生産原料ペレットに加工して、もう一度容器として再生できるようになります。

- ①まず綺麗に食べます
- ②つまむ部分があるので、そこを折って剥がしていきます。
- ③最後に、専用の回収BOXに捨ててください！
大学内に8ヶ所あるよ

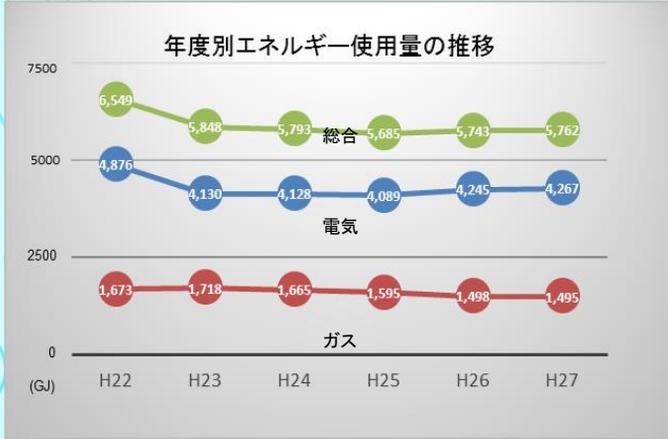
リ・リパックは4つ回収するごとに、3つのリ・リパックを再生使用することができます。そのため、使い捨て容器に比べて、CO₂排出量が削減できます。また、容器使用後は外側のフィルムを剥がしてしまえば、再生使用される部分が汚れずに残るので、洗浄する必要もなく、水を節約することができるので、とても環境にやさしいです。しかし、これは皆さんが正しくリサイクルしていただけた場合の話です。リサイクルされるほど、環境にはやさしいので、皆さんもリ・リパックは回収BOXに入れてください。よろしくお願ひします。

回収ボックス及びリサイクル取組ポスター

環境マネジメント活動の推進 学内での取り組み

○大阪教育大生協の省エネルギーに関わる取り組み

年度別エネルギー使用量及び削減率の推移（対H22年度基準）

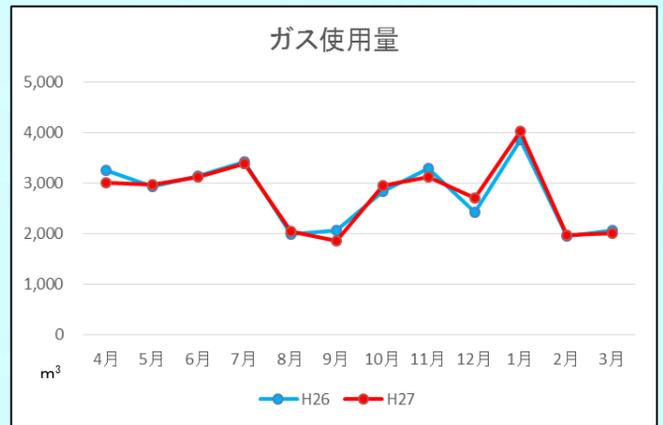
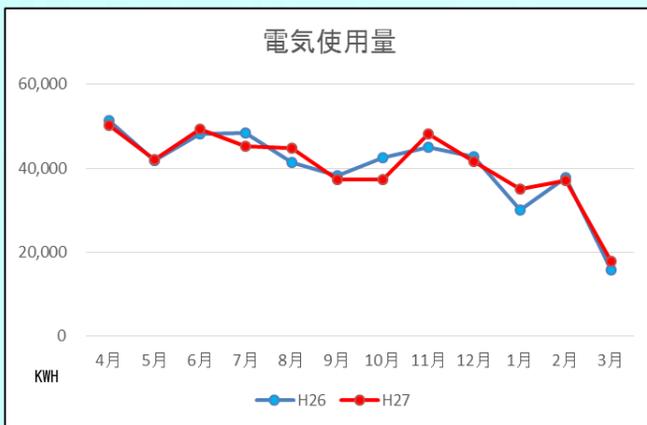


(KWh)

(%)

- 平成22年度から比較をすると平成27年度実績では12.0%削減できていますが、店舗改装などにより設備や照明器具も増え、平成25年以降は微増となっています。（平成25年についてはショップアイリスの改修工事のため電気使用量が下がっています。）

生協の省エネ活動結果（対H26年度比）



○主な取り組み

- ・チェックリストによる省エネへの推進
- ・空調の温度管理
- ・照明の一部消灯
- ・定期的なエアコンフィルター等の清掃
- ・事務機器の主電源OFFの取り組み

大阪教育大学・27年度夏季省エネキャンペーン

生協の省エネキャンペーン

＜2015年7月～9月実施中！＞

【主な節電実施項目】

- TERRA・第2食堂・カフェ・レストランFORET
ホール照明の開店前消灯および閉店後即時消灯、昼間時窓際消灯
- 自動販売機の照明の終日消灯
- 空調(冷房)の設定温度管理
- 空調(冷房)の営業終了時停止
- 空調・冷蔵ショーケースのフィルター定期清掃
- 出入口の開放厳禁（混雑時以外）
- 事務機器電源OFFの徹底



全学をあげての省エネ推進のため、生協も様々な節電に取り組んでいます。組合員の皆さんも食堂やショップアイリスのドアを開けたら閉める等、ご協力をお願いします。

UNIV. 大阪教育大学生活協同組合

柏原キャンパスマップ配置図



1 共通講義棟
H2 RC3F
7,078㎡
講義室、視聴覚教室、情報処理実習室、LL教室などがあります。



2 教養学科棟
H3 RC4F
12,894㎡
講義室、実習室、研究室などがあり、教養学科の講義、研究が行われています。



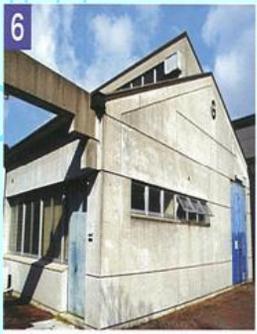
3 教員養成課程棟
H3 RC4F
19,010㎡
講義室、実習室、研究室などがあり、教員養成課程の講義、研究が行われています。入試課はC1棟1階にあります。



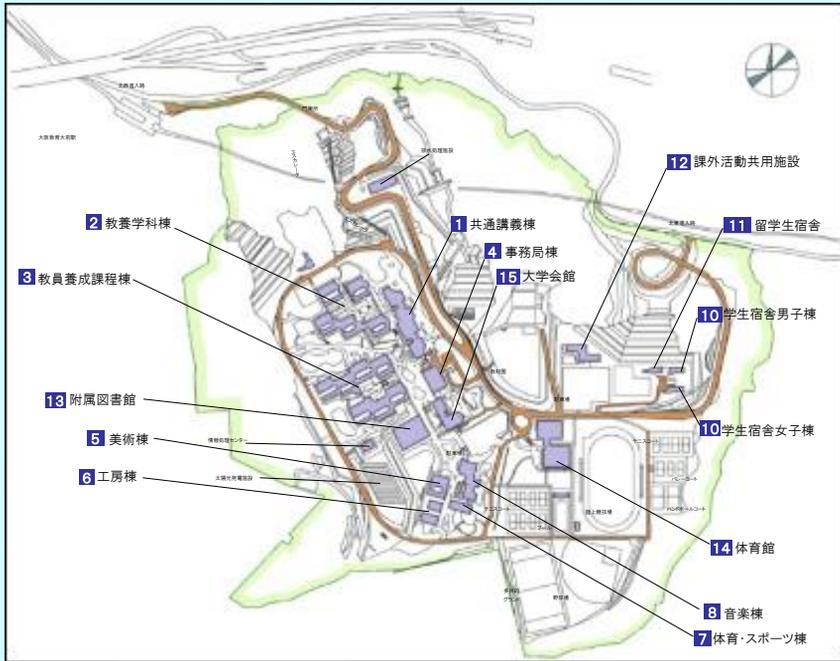
4 事務局棟
H6 RC4F
4,369㎡
学務部のほか、管理部、学術部などがあります。



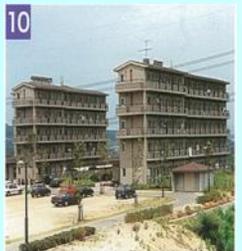
5 美術棟
H3 RC3F
2,659㎡
絵画室、デザイン室、書道室、講義室、研究室などがあります。



6 工房棟
H3 RC1F 797㎡
彫刻室、金工室、立体室、木工室、窯工室、研究室などがあります。



7 体育・スポーツ棟
H3 RC4F
1,745㎡
実験実習室、講義室、セミナー室、研究室などがあります。



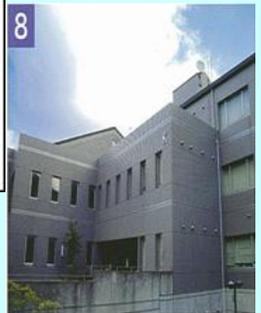
10 学生宿舎 H5 RC5F 2,560㎡
男子学生宿舎(収容定員60名)が1棟、女子学生宿舎(収容定員80名)が1棟あります。



11 留学生宿舎 H6 RC4F 1,004㎡
40室(収容定員男性18人、女性22人)あり、留学生に居住の場を提供しています。



12 課外活動共用施設
H6 RC2F
1,989㎡
体育系共用室、文化系共用室、合宿室などあり、課外活動の拠点になっています。



8 音楽棟 H3 RC4F 4,084㎡
リハーサルホール、実習室、練習室、講義室、研究室などがあります。



13 附属図書館
H3 RC3-1F 7,224㎡



14 体育館
H4 RC1F 1,770㎡



15 大学会館
H3 RC4F 3,677㎡

団地の所在地

柏原地区

- 1** 柏原キャンパス
大阪府柏原市旭ヶ丘4-698-1

天王寺地区

- 2** 天王寺キャンパス
大阪市天王寺区南河堀町4-88
附属天王寺中学校・附属高等学校天王寺校舎
大阪市天王寺区南河堀町4-88

- 3** 松崎町団地
附属天王寺小学校 大阪市阿倍野区松崎町1-2-45

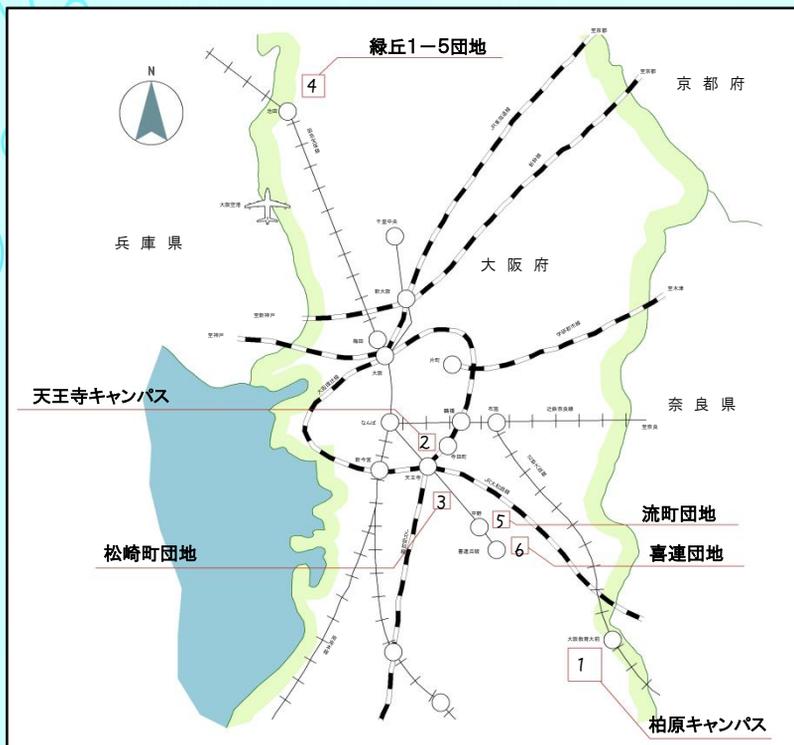
池田地区

- 4** 緑丘1-5団地
附属池田小学校 池田市緑丘1-5-2
附属池田中学校 池田市緑丘1-5-1
附属高等学校池田校舎 池田市緑丘1-5-1
学校危機メンタルサポートセンター

平野地区

- 5** 流町団地
附属幼稚園 大阪市平野区流町2-1-79
附属平野小学校 大阪市平野区流町1-6-41
附属平野中学校 大阪市平野区流町2-1-24
附属高等学校平野校舎
大阪市平野区流町2-1-24

- 6** 喜連団地
附属特別支援学校 大阪市平野区喜連4-8-71



キャンパスの特徴

大阪教育大学には柏原キャンパスの他、11の附属学校園が設置されている。大阪市内の天王寺地区及び平野地区、大阪府北部の池田地区に分かれて置かれ、いずれも大学との連携のもと、教育研究・教育実践・教育実習の場として重要な役割を果たすとともに、それぞれ地区ごとに連絡進学をはじめさまざまな相互連携をとり、下記のような特徴を持っている。

○柏原キャンパス

平成元年より天王寺、平野、池田より統合移転し、大学の本部を置くキャンパスである。

○天王寺地区

教育学部（二部）、大学院（夜間）と附属天王寺小学校、附属天王寺中学校・附属高等学校天王寺校舎を有するキャンパスで「基礎・基本の確かな育成」「中高一貫教育の長い歴史」を目標にしている。

○池田地区

附属池田小学校、附属池田中学校・附属高等学校池田校舎を有するキャンパスで「生きる力の育成・国際教育の基盤作り」「国際教育・国際理解教育と異文化交流」を目標にしている。

○平野地区

附属幼稚園、附属平野小学校、附属平野中学校・附属高等学校平野校舎、附属特別支援学校を有するキャンパスで「相互連携した教育・研究」「5校園構想への取組みと異校種交流学习」を目標にしている。



編集後記

本環境報告書は大阪教育大学の安全安心キャンパスや省エネ活動への積極的な取り組み、環境配慮活動についてまとめたものです。さらなる本書の充実と本学の環境への取組についてご指導、ご支援をお願いいたします。

お問い合わせ先

国立大学法人 大阪教育大学

総務部施設課企画係

電話：072-978-3333

FAX：072-978-3345

mail：sisetuka@bur.osaka-kyoiku.ac.jp

URL：http://osaka-kyoiku.ac.jp/